

社会資本総合整備計画(第3回変更)

小 美 玉 西 部 地 区

平成 31 年 1 月 17 日

茨城県小美玉市

社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成31年1月17日

計画の名称	小美玉西部地区							重点配分対象の該当	○									
計画の期間	平成26年度～平成32年度（7年間）			交付対象	小美玉市													
計画の目標	<p>小美玉西部地区は、交通結節点であるJR常磐線羽鳥駅や、常磐自動車道、国道6号、国道355号などの幹線道路が通っており、交通条件に恵まれた地域であるものの、交通結節点である羽鳥駅や主要な拠点施設を結ぶ道路ネットワークである市幹線道路、市民生活に欠かせない生活道路、公園・緑地など都市基盤施設は脆弱な状況にある。</p> <p>住民アンケートにおいても「活気や賑わいが少ない」、「防犯対策が不安」、「バスなどの交通機関が少ない」、「生活道路の幅が狭い」、「災害対策が不安」、「公園・広場が少ない」などの意見が寄せられている。</p> <p>そのため本地域では、小美玉市の玄関口にふさわしい整備として、さまざまな人が集まる交流・交通拠点の整備や、地域の中心的な役割を果たす羽鳥市街地と周辺地域の交流を支える道路体系などの整備を行うと共に、生活道路の改善、公園・広場の整備、防災拠点施設の整備など、公共施設の整備や、教育環境の充実により、誰もが安心して暮らせる出会いのまちを目指す。</p>																	
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>羽鳥駅東口から上り線までの移動時間を約4分から約2分に短縮</li> <li>羽鳥駅を利用する乗降者を4,598人から4,964人に増加</li> <li>社会移動率を-0.26%から-0.2%にする</li> <li>市イベント関連交流人口を81万人から103.8万人に増加</li> <li>小美玉市の住みやすさの割合を、49%から51%へ増加</li> </ul>																	
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考											
				当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H32末)												
羽鳥駅東口から上り線までの移動時間を実測する。				約4分	約4分	約2分												
羽鳥駅を利用する乗降者を実測する。				4,598人	4,692人	4,964人												
流出入人口を調査し、社会移動率を算出する。				-0.26%	-0.24%	-0.20%												
市イベントに参加参画する人数を計測する。				81万人	84.8万人	103.8万人												
小美玉市の住みやすさについてアンケート調査する。				49%	49%	51%												
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	2,967百万円	A	2,599百万円	B	365百万円	C	3百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.1%						
交付対象事業																		
A 基幹事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）						全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
1-A-1	都市再生	一般	小美玉市	直接	小美玉市	小美玉西部地区都市再生整備計画事業	小美玉西部地区 19.1ha	小美玉市								2,599		
合計																2,599		
B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）						全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
1-B-1	公園	一般	小美玉市	直接	小美玉市	希望ヶ丘公園再整備	A=107,977㎡	小美玉市								365		
合計																365		
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考		
1-B-1	1-A-1と一体的に整備することにより、交流拠点の確保と、防災性が向上し、誰もが安心して暮らせるまちを形成できる。																	
C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）						全体事業費 (百万円)	備考		
									H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
1-C-1	調査	一般	小美玉市	直接	小美玉市	事業効果活用調査	事業効果分析	小美玉市								3		
合計																3		
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考		
1-C-1	まちづくりの事業効果を把握し、適切・効率的な事業推進を図る。																	
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）						全体事業費 (百万円)	備考		
									H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
合計																		
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考		

交付金の執行状況

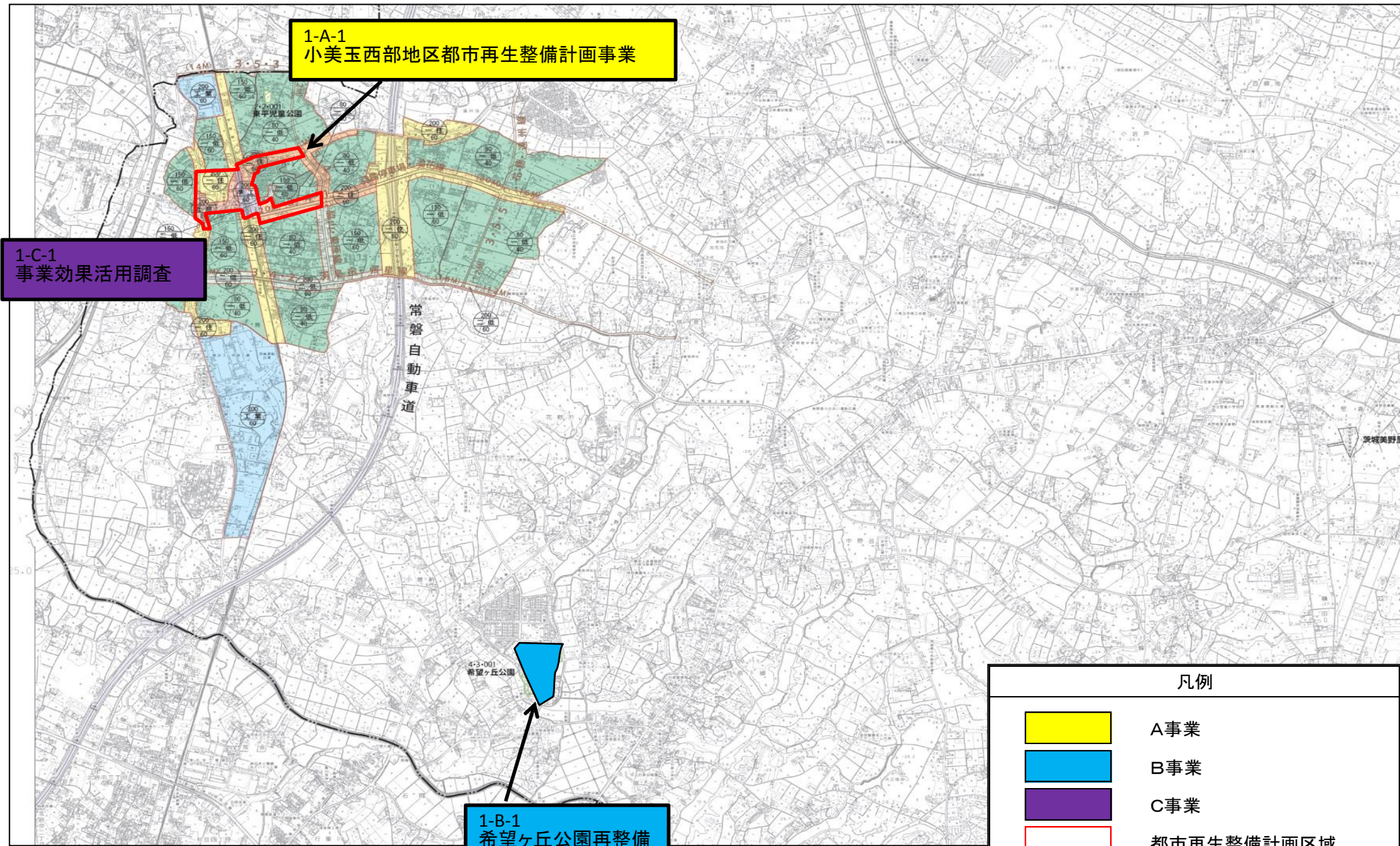
(単位:百万円)





	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
配分額 (a)	11	16	34	128	646		
計画別流用 増△減額 (b)	△6.72	0	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	4	16	34	128	646		
前年度からの繰越額 (d)	0	0	16	0	12		
支払済額 (e)	4	0	50	116			
翌年度繰越額 (f)	0	16	0	12			
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	5			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0			
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%			
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由							

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

参考図面（社会資本整備総合交付金 市街地整備）

計画の名称	1 小美玉西部地区	交付対象	小美玉市
計画の期間	平成26年度 ～ 平成32年度（7年間）		



凡例	
	A事業
	B事業
	C事業
	都市再生整備計画区域

# 都市再生整備計画(第3回変更)

おみたませいぶちく  
小美玉西部地区

いばらき おみたま  
茨城県小美玉市

平成31年1月

## 様式1 目標及び計画期間

都道府県名	茨城県	市町村名	小美玉市	地区名	小美玉西部地区	面積	19.1 ha
計画期間	平成 26 年度 ~ 平成 32 年度	交付期間	平成 26 年度 ~ 平成 32 年度				

### 目標

- 大目標 誰もが安心して暮らせる出会いのまち  
 小目標① 交通利便性の向上による移動の円滑化  
 小目標② 安心して住み続けることができるまちづくりの推進

### 目標年度

平成30年 月  
 まちづくりの経緯及び現況

○小美玉市は平成18年3月に2町1村の合併により誕生し、平成20年3月には小美玉市総合計画を、平成22年3月には小美玉市都市計画マスタープランを作成し、将来の都市像に向かい着々と整備を進めている。  
 ○平成23年3月に発生した東日本大震災以降市民の意識が大きく変わり、地震・水害・火災など災害に対する施策への要望が高まっている。  
 ○小美玉西部地区は、小美玉市都市計画マスタープランにおいて「交通利便性と自然・農業資源を生かした交流地域」として、交通利便性を生かした交流促進や快適な生活空間整備、自然的土地利用を保全したまちづくりを目指している。  
 ○小美玉西部地区は、交通結節点であるJR常磐線羽鳥駅や、常磐自動車道、国道6号、国道355号などの幹線道路が通っており、交通条件に恵まれた地域であるものの、交通結節点である羽鳥駅や主要な拠点施設を結ぶ道路ネットワークである市幹線道路、市民生活に欠かせない生活道路、公園・緑地など都市基盤施設は脆弱な状況にある。  
 ○住民アンケートにおいても「活気や賑わいが少ない」、「防犯対策が不安」、「バスなどの交通機関が少ない」、「生活道路の幅が狭い」、「災害対策が不安」、「公園・広場が少ない」などさまざまな意見が寄せられている。  
 ○そのため小美玉西部地区では、小美玉市の陸の玄関口にふさわしい整備として、さまざまな人が集まる交流・交通拠点の整備や、地域の中心的な役割を果たす羽鳥市街地と周辺地域の交流を支える道路体系などの整備を行うと共に、生活道路の改善、公園・広場の整備、防災施設の整備など、公共施設の整備や、教育環境の充実により、誰もが安心して暮らせる出会いのまちを目指す。

### 課題

- JR羽鳥駅周辺市街地における玄関口にふさわしい拠点的な地区の整備が必要となっている  
 ○市内の主要な拠点を結ぶ適切な連携軸の整備が必要となっている  
 ○小美玉市の今後を担う子どもたちが安心・安全に育っていける施策が求められている。  
 ○まちに活気や賑わいが求められている。

### 将来ビジョン(中長期)

○小美玉市総合計画  
 小美玉市の将来像である『人が輝く水と緑の交流都市』の実現に向け、「地域内の交流の深化を目指す」、「市内外との交流の活性化」、「安全で安心できる環境を目指す」を重点施策として事業に取り組む。  
 また、JR羽鳥駅を中心とした地域は、「陸の交流エリア」として、賑わいに満ちた交流空間の形成を推進し、来る人・住む人にやさしい空間整備を図るエリアに位置づけられている。  
 ○小美玉市都市計画マスタープラン  
 交通利便性を生かした交流促進のために、小美玉市の玄関口にふさわしい整備や、さまざまな人が集まることによる交流拠点を整備、羽鳥市街地と周辺地域の交流を支える道路体系などの整備を進める。  
 快適な生活空間整備のため、市民が快適に生活できる都市基盤施設の整備を進め、市民の利便性を高めるための公共公益施設などの立地促進を図る。

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
移動時間の短縮	分	羽鳥駅東口から上り線までの利用者の移動時間	移動時間の短縮により、交通利便性の向上を図る。	4	H25	2	H32
駅利用者の増加	人	羽鳥駅を利用する乗降者の人数	交通結節点強化により、乗降者の増加を図る。	4,598	H26	4,964	H32
社会移動率の増加	%	市からの流出人口の割合	交通結節点強化により、市からの流出に歯止めをかける。	-0.26	H26	-0.2	H32
市イベント関連交流人口の増加	万人	市イベントに参加参加する人数	関連事業により、市イベントに参加参加する人数を増加させる。	81	H26	103.8	H32
住みやすさ指数の増加	%	住民アンケートによる住みやすさの割合	安心度、利便度、快適度の向上により、住みやすさの割合を増加させる。	49	H25	51	H32

## 様式2 整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通利便性の向上による移動の円滑化</li> <li>・交通結節点及びその周辺の道路等や公共公益施設の整備を推進する。</li> <li>・高速バス停の新設及び駐車場の一体整備によりパークアンドライドを推進する。</li> </ul>	<p><b>【基幹事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道路事業:羽鳥駅東口駅前広場</li> <li>道路事業:羽鳥駅西口交通広場</li> <li>道路事業:市道美1486号線</li> <li>道路事業:市道美1496号線</li> <li>地域生活基盤施設:高速バス駐車場</li> <li>地域生活基盤施設:羽鳥駅東西自由通路</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して住み続けることができるまちづくりの推進</li> <li>・東日本大震災の教訓を踏まえ、公共施設などの耐震化、避難経路の安全確保、防災施設の整備など防災体制の強化を図る。</li> <li>・子どもから高齢者まで幅広い世代が共生できる公共施設の整備や教育環境の充実を図る。</li> </ul>	<p><b>【関連事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>希望ヶ丘公園再整備, 事業効果活用調査, 都市再生コーディネート等推進事業, UIJターン促進事業, 情報戦略事業</li> </ul>
事業実施における特記事項	
<p><b>【官民連携体制】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○体験型ツアーを開催することで、地域資源・人材を発掘するとともに、小美玉市の魅力を体感してもらうことでリピーターを獲得し、地域活性化につなげる。さらには、小美玉市民とのマッチングや定住・結婚につなげていく。</li> </ul> <p><b>【政策間連携体制】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○連絡調整会議の設置により、各課の枠にとらわれない横断的な連携(政策調整課・企画調整課・農政課・商工観光課・子ども福祉課・都市整備課)を図り、より魅力ある体験型ツアーの行程を組む。</li> </ul> <p><b>【事業完了後の継続性、人材育成、維持管理費の低減】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○羽鳥駅から国道6号までの5kmの県道の間には、「文化」「商業」「教育」の各拠点が点在し、その中間には「酪農」の生産拠点があるが、現在は周遊する仕組みがなく、各拠点が有機的に連携しているとは言えない。この事業を契機に各拠点を周遊する仕組みと受け入れ体制を確立し、都内から1時間という立地を活かして、リピーターを創出し「稼ぐ観光」を目指していく。合わせて、当該事業を通して小美玉市商工会青年部や美野里酪農協同組合青年部、住民主体による文化のまちづくりを推進する組織等が一堂に会して体験型ツアーの開発と実施に取り組む住民参画体制の確立を目指し、「(仮)小美玉体験型観光協議会」の組織化を図る。</li> <li>○小美玉観光協会をはじめとする民間団体と連携を図り、体験型ツアーの開催などとおして、シビックプライドを持つ人材の育成・発掘し、持続可能なまちづくりにつなげる。</li> </ul>	





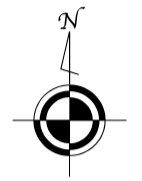
都市再生整備計画の区域

小美玉西部地区(茨城県小美玉市)

面積

19.1 ha

羽鳥の一部



# 小美玉西部地区(茨城県小美玉市) 整備方針概要図

目標	誰もが安心して暮らせる出会いのまち	代表的な指標	移動時間の短縮 (分)	4	(25年度)	→	2	(32年度)
			乗降者の増加 (人)	4,598	(26年度)	→	4,964	(32年度)
			社会移動率の回復 (%)	-0.26	(26年度)	→	-0.20	(32年度)
			市イベント関連人口の増加 (万人)	81	(26年度)	→	103.8	(32年度)
			住みやすさの増加 (%)	49	(25年度)	→	51	(32年度)

